

公表

事業所における自己評価総括表（保育所等訪問支援）

○事業所名	ロンディーネの杜		
○保護者評価実施期間	R7年 1月 10日	～	R7年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 7
○従業者評価実施期間	R7年 2月 10日	～	R7年 2月 14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○訪問先施設評価実施期間	R7年 1月 10日	～	R7年 2月 14日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 3月 1日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・子どもたちの日常に寄り添う支援	・多職種による専門的な支援の実施	・訪問先施設の多様なニーズに対応できる体制づくり 子どもの状況だけでなく、訪問先施設のニーズを丁寧に聞き取り、支援を検討します。 ・安心して相談しやすい環境づくり 積極的に訪問先施設と面談を行い、困りごとや不安などを丁寧に聞き取ります。日々の様子や成長などを共有し、信頼関係を築きます。
2	・専門的な支援計画の作成と支援の実施	・医療、福祉、教育など、様々な分野からの情報収集 ・包括的なアセスメント ・多職種による専門的な支援の実施	・個別支援計画の充実 多職種による専門的な意見を個別支援計画に反映します。定期的な見直しを行い、変化する状況に柔軟に対応します。 ・専門人材の育成 研修会などを通じて専門的な人材の育成を図り、支援の質を高めます。
3	・相談支援事業所、他の障害福祉サービス事業所、保育園・学校などの教育機関、医療機関(主治医や訪問看護師など)関係機関との連携	・関係機関との相談しやすい関係づくり ・子どもの日々の様子や変化などの情報共有 ・地域での包括的な支援の実施	・相互訪問や見学の実施 それぞれの機関の役割や支援内容を理解し、連携を深めます。相互理解を深めることで、連携時のスムーズな情報伝達や協力体制の構築に繋がります。 ・合同イベントや交流会の開催 関係機関の職員や利用者間の交流を促進します。交流を通じて、相互理解を深め、信頼関係を築きます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・訪問頻度や訪問時間の制限	・専門的な支援が可能な訪問支援員の育成と充実	・事例検討会の実施 実際の事例に基づいた検討会を開催し、実践的なスキルを向上させる。経験豊富な職員から指導を受ける。訪問支援員同士で情報交換や意見交換を行う。 ・OJT（On-the-Job Training） 経験豊富な訪問支援員に同行し、実際の支援場面を見学・体験する。訪問後に振り返りを行い、改善点を明確にする。段階的に支援を任せ、実践的なスキルを習得する。
2	・業務改善の取り組み	・業務の課題や改善点の共有 ・業務改善案の検討と実施 ・職員間での情報共有	・定期的なミーティングの実施 職員が日々の業務で感じている課題や改善点を共有する場を設ける。定期的にミーティングを開催し、自由な意見交換を行う時間と、特定の課題について話し合う時間を設ける。改善後も定期的に効果測定を行い、必要に応じて見直しを行う。
3	・保護者との情報共有	・支援内容の報告と情報共有の方法	・日々の報告と情報共有 訪問時の記録を保護者と共有し、保護者からの質問や相談事項も記入できるようにします。訪問後に、その日の支援内容や子どもの様子を保護者に直接伝え、保護者の理解を深めます。必要に応じて写真や動画で記録し、保護者と共有します。